

全体	No. 1 0
個別	003-01

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項 目	市民協働による第2次対馬市総合計画の策定を進めます。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 平成28年度開始の第2次対馬市総合計画の策定において、市民総出による手作りの計画になるよう、また、地域の資源や宝、人材を活用した地域間連携による新規産業化を目指し、地域マネージャーや外部・内部支援員、地域による協働の取組みとして策定する地域づくり計画を最大限反映させた計画とします。</p> <p>【指標】 平成26年度：地域づくり計画の策定 第1次総合計画の検証・評価</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>○地域づくり宣言は全181行政区中83地区で策定（H27も継続） ○その他、対馬市の現状整理、第1次計画の検証、各部局ヒアリング、島内各団体、地区（35地区）、市民ヒアリング（327名）等を計画どおり実施。</p>	
	3. 評価	○
	<p>平成26年度の取組み計画中、地域づくり宣言については、期間的なものもあり、5割弱の策定状況ではあるが、現在取り組み中の行政区もかなりあることから、一定の評価ができると考える。 その他業務については、ほぼ計画どおりに実施できた。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>地域づくり宣言及び各種団体等ヒアリング結果を基に、①ひとづくり、②なりわいづくり、③ふるさとづくり、④つながりづくり の4つを主要テーマとし、短期的に集中して実施する事業、施策を網羅した「第2次対馬市総合計画」を策定する。</p>	

全体	No. 1 1
個別	003-02

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	政策企画課
----	-------

No.	項目	水ビジネス事業を推進します。
	1. 組織目標	
		<p>【内容】 一般県道瀬浦巖原港線の「内山坂トンネル」における湧水について、新たな資源と認識し、昨年、一昨年の調査結果を基に、新規事業化に向けた取組みとして、事業実施主体の選定に向けた関連企業へのアプローチを行います。</p> <p>【指標】 湧水の成分、湧出量等の調査結果を基に、新規事業化に向け、関連企業への訪問を加速させます。 平成26年度：関連企業訪問（複数社）、平成27年度：実施主体の決定</p>
	2. 実績（成果）	
		<p>本年度、新規事業化に向け、地方公共団体が関与する小規模事業者を中心に熊本県下3事業者の施設規模や運営状況、採算性等の視察調査を実施。 また、島内において水産業に興味を持つ民間事業者との意見交換等を行った。</p> <p>視察調査の結果、豊富な湧水量と知名度を誇る熊本県下の事業者も苦戦しており、事業化の前に一定の顧客、複数の販路を持たないと厳しいとの現状であった。 また、島内意向事業者の起業については、他地域の状況等を考慮し、早急な起業は出来ないことを確認した。</p>
	3. 評価	△
		<p>大手飲料会社の参入により中小の企業は軒並み苦戦している状況であることが認識できた。 また、島内の事業意向者と協議を実施したものの現時点での起業化については、不調に終わった。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>事業化に向けた取組みは継続するが、現在の市場状況を考慮し、当分の間、休止も含め、部会にて協議していく。 なお、関連企業へのアプローチは継続していく。</p>

全体	No. 1 2
個別	003-03

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	市民協働・自然共生課
----	------------

No.	項目	地域マネージャー制度事業による地域づくり計画の策定を推進します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>市民と集落支援員、地域マネージャーの連携による集落点検、ワークショップなどを通じて、市民主導の地域づくり計画の作成を全ての地区もしくは校区において作成できるように地域マネージャーや集落支援員を対象にした研修会を開催します。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同研修会を年3回開催します。 ・校区会議を年1回開催します。 	
	2. 実績(成果)	
	<p>平成26年 5月 7～9日 地域マネージャー校区会議 平成26年 5月21～23日 キックオフミーティング 平成26年 7月 9～11日 合同研修会(第1回) 平成26年10月 7～9日 合同研修会(第2回)</p> <p>地域マネージャー校区会議、合同研修会(キックオフミーティング含む)を計画どおり実施できました。合同研修会については3回を2回で実施完了しました。</p>	
	3. 評価	○
	<p>地域づくり計画作成は、地域と集落支援員、地域マネージャーが連携して作成していくことが必須となります。校区会議、キックオフミーティングにおいて地域づくり計画を作成する意義を認識し、合同研修会では、そのためのノウハウや技術を学ぶ研修会とすることができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>地域づくり計画は、地域づくりの1つのツールであるため、計画策定の支援はもちろんですが、具体的な計画や事業の実施を支援していくことがさらに重要であり、そのためには地域にマンパワーが必要であります。引き続き、地域や集落支援員、地域マネージャーに対して、地域づくりに対し様々な支援を実施していきます。</p>	

全体	No.13
個別	003-04

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	魅力ある観光情報システムづくりを目指します。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>昨年度までにスマートフォン用アプリの制作、公衆無線LANサービス環境構築、観光ガイドブック及びPRポスターのリニューアルなどアナログ・デジタルの両面から観光情報システムの構築を実施してきました。これら多くの情報はあつたものの、それでも年配の方々にはもっとアナログでの情報が必要との声もあるなか、本年度から観光案内・誘導板の設置をメインに実施していきます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・誘導板を島内全域に33基設置予定 	
	2. 実績(成果)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内・誘導板を島内全域に39基設置しました。 	
	3. 評価	○
	<p>目標指標を上回る観光案内・誘導板を設置することができ、市内各所に点在する観光地までスムーズに誘導を促すことは、満足度の向上につながると考えます。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>団体旅行から個人旅行へのニーズが高まり旅行形態が多様化してきています。また外国人観光客も急増しており、観光案内・誘導板の設置による観光地までのスムーズな誘導を行うよう引き続き、事業を継続します。</p>	

全体	No.1 4
個別	003-05

平成26年度 [総 合 政 策 部] 目標の成果

課 名	観 光 交 流 商 工 課
-----	---------------

No.	項 目	商業地域を中心としたにぎわいづくりをします。
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	<p>市内商店街は、人口の減少や過疎高齢化などにより以前の活気が失われ、にぎわいが低迷し続けています。しかし、昨年度から実施された「しまとく通貨」は順調に売り上げを伸ばしており、今後もますます消費の拡大が期待されています。また、年々増加している韓国人観光客など商店街のにぎわいづくりには絶好の好機となっています。この状況を活かすため、各事業者向けの研修会等を実施し知識や意識の啓発を行うとともに、商工業支援事業により資金面の下支えをしていきます。</p>
	【 指 標 】	<p>商店街活性化の研修会等の開催 年3回 商工業活性化の協議 年3回 対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金 対馬市農商工連携支援事業補助金 対馬市小規模企業融資補助金</p>
	2. 実 績 (成 果)	
		<p>対馬市商店街にぎわい創出支援事業補助金・・・2百万円 採択1件 対馬市農商工連携支援事業補助金・・・3百万円 採択1件 対馬市小規模企業融資補助金・・・対馬市中小企業振興資金融資条例及び対馬市中小企業創業資金融資条例に制度を変更。前年度末の融資残額に比して当年度の融資残高が90百万円増加。</p>
	3. 評 価	○
		<p>補助金関連の指標については達成しました。特に小規模企業融資補助金は制度を変更した結果、銀行からの強い協力があつたことにより、大幅増加出来たことで、地域の企業の振興・創業に効果がありました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>引き続き創業・起業の支援を行っていきます。 また商工業の活性化をめざして、商業・商店街の振興のために研修や協議を行っていきます。</p>

全体	No. 1 5
個別	003-06

平成26年度 [観光物産推進本部] 目標の成果

課 名 観光交流商工課

No.	項 目	国際交流イベントをはじめとした、交流人口の拡大
	1. 組織目標	
	【 内 容 】	韓国でのフェリー事故の影響が懸念されますが、通年による国際交流事業の支援活動を実施し、韓国をはじめとする東アジアからの観光客の増加を図ります。
	【 指 標 】	
	・国境マラソンIN対馬	参加者数 1, 400人
	・対馬厳原港まつり	観客数 31, 000人
	・対馬ちんぐ音楽祭	観客数 500人
	・韓国人観光客数	190, 000人
	2. 実績(成果)	
	・国境マラソンIN対馬	参加者数 約1, 378人
	・対馬厳原港まつり	観客数 約12, 000人
	・対馬ちんぐ音楽祭	観客数 0人
	・韓国人観光客数	約194, 032人
	3. 評 価	×
		国境マラソンについては、目標値に近い参加者数となりましたが、対馬厳原港まつりは、朝鮮通信使の再開を準備されていましたが、あいにくの台風で花火も併せて中止となり、ステージは交流センターに場所を変更したものの魅力に欠けるものとなり、例年の半分以下の観客数となりました。 対馬ちんぐ音楽祭は、海道音楽祭と名称を変更し、内容を再度検討するため昨年度は実施されませんでした。
	4. 今後の展開	
		引き続き各イベントの実行委員会と連携しながら、対馬の宣伝事業や交流イベントの支援を効果的に行っていくことで、観光客の誘致に努めていきたいと思えます。特に、海道音楽祭は、実行委員会との連携を密にし、これまでの流れも大事にしながら再編活動および実施の後押しをします。

全体	No.16
個別	003-07

平成26年度 [総 合 政 策 部] 目標の成果

課 名	観 光 交 流 商 工 課
-----	---------------

No.	項 目	地場産品の更なる消費拡大に取り組みます。
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】 物産展等の継続開催や出展により、対馬の認知度向上と特産品PR・販路開拓を図ります。 福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、認知度向上による「つしまヂカラ」戦略プランに基づき、特産品のPRと販路開拓及び対馬産品取り扱い店舗拡大に取り組みます。 昨年オープンした「よりあい処つしま」を活用し、定期的な対馬フェアを開催することで、PR・集客・誘客はもちろん、対馬特産品取扱店舗の開拓を行います。 商品づくりの専門家による勉強会や指導・相談会の開催、バイヤーとの商談会を開催し、消費者ニーズに応じた商品づくりや販路開拓を図ります。 「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業等に取り組みます。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州管内での物産展等の開催 5回以上 ・各種物産展の企画・出展・斡旋 10回以上 ・海山交流イベント 5回 	
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の物産展では、主に福岡県内で10回、東京8回、長崎4回、大阪2回のほか多数の出展・出品を行いました。(合計32回) ・「よりあい処つしま」において、食材PRフェアを4回開催しました。(まぐろ、あなご、サザエ、秋サバ) ・海山交流イベントでは、熊本県山江村と3回、岐阜県中津川市と3回の交流事業を行いました。
	3. 評 価	○
		<p>指標については、数値目標を達成することができました。 物産展への出展により、消費者の求める商品の把握ができ、商品の改良・新商品の開発等売れる商品づくりに繋がりました。また、飲食店やホテル等に食材を提供することで、物産品及び対馬のPRが図られ認知度向上に繋がりました。</p>
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>継続して物産展を開催・出展することで知名度の向上を図るとともに、都市圏でのイベント開催・出展による認知度向上及び販路拡大を行います。 また消費者ニーズに応じた商品開発や販売方法等の改善を図るため、専門家による勉強会や相談・指導、バイヤー商談会を開催し売り上げの増加に繋げていきます。</p>

全体	No.17
個別	003-08

平成26年度 [総 合 政 策 部] 目標の成果

課 名	観 光 交 流 商 工 課
-----	---------------

No.	項 目	重点誘致対象分野を絞った企業誘致に取り組みます。
	1. 組 織 目 標	
	【 内 容 】	
		<p>地域経済の活性化や若者の島内定住、雇用創出などを促進するため、対馬の自然（海、山、里）が生み出す資源、素材を活用した「農林水産業関連の企業」をはじめ「情報通信関連企業」「旅館業等観光関連産業」を誘致企業の重点対象分野にしています。その中でも昨年度に引き続き、韓国からの観光客の増加に伴い、宿泊施設等の誘致に取り組みます。</p>
	【 指 標 】	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル誘致にかかる企業等への営業 1社以上 ・簡易宿泊施設・キャンプ施設の整備計画の策定 1施設以上
	2. 実 績 (成 果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ホテル誘致にかかる企業等への営業 新規5社
	3. 評 価	○
		<ul style="list-style-type: none"> ・重点分野の宿泊施設誘致に向けて企業への営業を進めております。また25年度の三宇田の公募の課題であった宿泊人数の解決に向けて、協議し宿泊人数の増加を図りました。
	4. 今 後 の 展 開	
		<p>引き続き重点分野にかかる企業誘致の営業を進めます。また公募を開始し、宿泊施設等の事業者の誘致に注力致します。</p>

全体	No.18
個別	003-09

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課
----	---------

No.	項目	しまとく通貨のPR及び加盟店への勧誘を推進します。
	1. 組織目標	
	【内容】	長崎県内のしま市町で共通に利用できる20%のプレミアム付商品券を島外からの観光客・ビジネス客を対象に市町の加盟店で利用できる「しまとく通貨」として販売し、誘客及び消費の拡大を図ります。
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・しまとく通貨のPR 市報への掲載 1回 ・消費の拡大を目的に「しま得通貨マップ」の作成
	2. 実績(成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌6月号に掲載しPRを行いました。 ・埼玉県で「長崎のしまフェア」を開催し、7つの島が集まって特産品の販売や島のPRを行ったほか、各種イベントにおいてもしまとく通貨のPRを実施しました。 ・「しまとく通貨加盟店マップ」を作成しました。
	3. 評価	○
		指標については、数値目標のとおりほぼ達成することができました。広報誌の他、各種イベント等で広くPRすることで、しまとく通貨の知名度も向上し利用促進に繋がりました。
	4. 今後の展開	
		しまとく通貨をきっかけとした更なるしまのPRに努め、観光客の誘客と消費の拡大を図ります。

全体	No.19
個別	003-10

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	福岡事務所
----	-------

No.	項目	福岡における対馬市の認知度向上及び物産の消費拡大を図ります。
	1. 組織目標	
	【内容】	<p>ロコミ情報発信力が強い福岡の女性に対してコアな対馬ファンを獲得するため、「つしまドンナ」を募集し広く対馬のPRを行い、旅行客の増大を図り、対馬の地域経済の活性化向上を図ります。</p> <p>また、対馬の「！（おっ）」をブログで発信し、対馬の認知度向上を図ります。</p>
	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・つしまドンナ50名認定。 ・ブログ更新とアクセス数のアップ。
	2. 実績(成果)	
		<ul style="list-style-type: none"> ・つしまドンナ43名認定。 <p>平成26年度から、つしまドンナを公募開始。ロコミ力がある女性・対馬ファンの女性をつしまドンナとして認定しました。</p> <p>また、つしまドンナが自ら企画したイベントなども実施し、より効果的な対馬のPR（観光・物産等）が行えました。併せて、つしまドンナメンバー増員につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログアクセス数：6,000／月
	3. 評価	△
		<ul style="list-style-type: none"> ・つしまドンナ43名認定 <p>つしまドンナについては、平成26年度からメンバー応募を開始し、現在43名を認定しました。</p> <p>また、つしまドンナ結成メンバーによる会議を4回開催し、活動方針、メンバー拡大のための施策、イベントの企画・実施等の協議を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログアクセス数：6,000アクセス／月 <p>対馬の「！（おっ）」を発信し、アクセス数は6,000アクセス／月でした。</p>
	4. 今後の展開	
		<p>対馬観光物産協会嘱託職員およびつしまドンナと連携し、一人でも多くのコアな対馬ファン獲得を図ります。そのため、ブログで対馬の「！」を一つでも多く、つしまドンナの皆さまにも協力していただきながら、ロコミ等で対馬の「！」を情報発信していきます。</p> <p>さらに、よりあい処つしまを活用した企画を行い、また、他自治体と連携しながら対馬の観光振興および物産の消費拡大、よりあい処つしまの認知度向上に努めます。</p>

全体	No.20
個別	003-11

平成26年度 [総合政策部] 目標の成果

課名	観光交流商工課 <small>歴史のまちづくり・世界遺産登録推進室</small>
----	--

No.	項目	国境を越えた文化交流の充実及び文化財の活用・保護を図ります。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>①対馬歴史街道博物館(仮称)施設の整備推進 ②朝鮮通信使関連遺産のユネスコ世界記憶遺産登録へ向けた活動支援</p> <p>【指標】</p> <p>1 博物館建設について、その計画推進 (1)完成へのスケジュール調整 (2)博物館建設に関する市関係部局調整会議(年4回) (3)建設に係る県との調整会議(年12回) (4)博物館建設に係る整備等文化庁協議(年2回) (5)設計業務へ向けた準備事務 2 世界記憶遺産登録活動支援 (1)関係会議への参加 (2)支援助言(随時)</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>1 (2)(3)(4) 市関係部調整会議は5回、県との調整会議10回、文化庁協議2回の会議実績。市関係部については、必要に応じ適宜開催をできた。</p> <p>1-(1) 県立歴史民俗資料館の新館建設までの処遇変化により、完成へのスケジュールが未だはっきりしない状態になっている。</p> <p>1-(5) 長崎県が一体整備の方針を公表したのが年度末であったため、それまで全く手を付けられない状態であった。</p> <p>また年度途中より、博物館周辺の環境整理を目的に、「博物館建設に係る金石城跡及びその周辺整備計画」を策定し、今後の整備方針を把握することができた。</p> <p>2 推進部会の一員として、会議に1度参加をした。</p>	
	3. 評価	△
	<p>1 博物館施設の整備推進については、昨年度と比べれば、県との協議回数、内容ともに充実はしたが、あくまで長崎県の公式表明を待つ以上、スケジュール、整備計画等纏めることができていないことを考えれば、(回数ではない)中身の目標実績は達成できていないと考える。</p> <p>2 世界記憶遺産登録活動支援については、会議に参加をしただけで、通年で有効な支援を行えてるかと言え、期待通りとは言えない。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>1 引き続き、博物館建設の整備推進のために、県・文化庁との協議を深め、ハード・ソフト事業共に取り組むことができるよう、博物館完成年度 平成30年を達成目標として目指していく。</p> <p>2 世界記憶遺産登録については、求められる業務を再考し最大限の支援を行い登録への貢献を目指す。</p>	